

令和元年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		4-	2
事業名	税務経費	会計	款	項	目
		一般	2	2	1
施策	6	語らいのあるまち		課名	税務課
	6-4	行財政運営の充実したまちをつくる		係名	課税係
	6-4-2	効率的行財政の運営			
主要施策	④自主財源の確保				

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民、納税義務者	目的 (対象がどのような状態になっているか)	税に関する啓発、周知等により、理解と関心を高め、税収確保に努める。
事業内容	統合型地理情報システム等を活用した効率的な窓口サービスを実施するとともに、関係機関と連携し、各メディア等を利用しての啓発及び情報提供を行う。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

		指標名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	目標方向	令和2年度 (目標)
指標	1	ホームページへの掲載情報	16	20	15	件	→	10
	2							
	3							
	4							
	5							
			平成30年度 (決算)		令和元年度 (決算)	令和2年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B			7,525		11,575	12,202		
財源内訳	直接事業費 A		5,479		5,995	6,424		
	うち一般財源		5,478		5,995	6,424		
人件費 (千円) B			2,046		5,580	5,778		
内訳	一般職員 (人・千円)		0.31	2,046	0.84	5,544	0.87	5,742
	臨時職員 (人・千円)		0	0	0.02	36	0.02	36

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業を現状どおり継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R1年度の改善計画		③取組の課題	浸透度合を踏まえて、啓発、周知方法等について再考する必要がある。
②R1年度に実施した取り組み	ホームページ、広報紙等を通じ税情報の啓発、周知に努めた。また、各種システム等を利用し、効率的な窓口サービスを実施した。	④今後の改善計画	今後も利便性の高い窓口サービスの実施を継続するとともに、ホームページ等の内容及びより良い周知方法等を検討する。